

平成24年度上期 福島第二品質監査部 活動状況報告

原子力品質監査部 福島第二品質監査部

1. 業務品質監査

(平成24年度上期着手分)

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
保全部 原子炉(1・2号)グループ	H24.6.11～H24.6.27	原子炉(1・2号)グループが緊急時安全対策のうち、津波・地震対策の検討を進めるための「津波・地震対策エンジニアリングチーム」の中心として活動していることから、監査対象業務として「緊急時安全対策」について確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 ①若手メンバーが自ら調査した結果をグループ会議で発表する機会や技術検討した内容を発電所幹部に直接説明する機会を意識して作ることで、資料作成能力、プレゼンテーション能力の向上を図っており、若手社員のモチベーション維持の観点からも良好な取り組みである。
総務部 土木グループ	H24.7.18～H24.7.23	監査対象業務として「仮設防潮堤設置及び長期的な対応としての恒久防潮堤設置の計画、工事実施」について、地震・津波エンジニアリングチームの活動との関連を含め確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】なし
保全部 原子炉(3・4号)グループ	H24.7.24～H24.8.10	原子炉(3・4号)グループが原子炉設備に対するプラント長期停止中における点検長期計画(特別な点検長期計画)を策定し、これに従って、順次、プラント設備の点検を計画していることから、監査対象業務として「4R原子炉冷却系統機器点検手入れ工事」について確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】なし
運転管理部 1・2号当直	H24.9.3～継続中	東北地方太平洋沖地震の発生以降、発電所の状況が大きく変化し、運転員の緊急時対応体制への迅速な移行や力量の維持等、運転員に対する要求が変化していることを受け、特に若年層に対する研修の実施状況ならびに運転員の配置や力量確保の状況について確認中。	監査継続中

(平成23年度下期以前からの継続分)

監査対象部門	監査実施期間	監査結果	
		監査概要	指摘・要望事項 等
所長付	H24.3.8～H24.4.3	厳しい収支状況のなかで、各部門が抜本的な効率化・合理化に取り組む必要があることから、監査対象業務として「発電所の予算管理業務」「ふくに改善プラン対応業務」について確認した。	【指摘事項】なし 【要望事項】なし 【良好事例】 ①予算精度向上に対する取り組みの一つとして、入力負荷低減、確認項目の共有の観点から、大半の入力項目をプルダウンメニューとし、選択入力できるようにしていた。また、他発電所との情報共有を行っていた。

2. 特別監査

対象なし

以上